

解答誤りの内容

(1) 平成 27 年 試験科目 25 「飛行指示制御装置の製造及び修理の方法に関する事項」

問 9 次の文章の空欄 [ ① ] ~ [ ⑤ ] に該当する適切な語句を、下の A ~ J より選びなさい。

(中略)

(5) [ ⑤ ] は、軍用に供される搭載電子機器の電磁放射と感受性についての試験方法について定めている。

A : MIL-STD-1553B	B : ARINC701
C : ARINC629	D : ARINC429
E : MIL-STD-461	F : MIL-STD-462
G : RTCA/DO-178	H : RTCA/DO-160
I : MIL-HDBK-5400	J : MIL-HDBK-217

正解は「E」であるが、誤って「F」となっていました。

(2) 平成 27 年 試験科目 27 「統合表示装置の材料に関する事項」

問 1 金属材料に関する下記の記述で正しいものには○印を、間違っているものに×印を付けなさい。

(中略)

(4) ジュラルミンは Al-Zn-Mg-Cu 系のアルミニウム合金である。

正解は「×」であるが、誤って「○」となっていました。

(3) 平成 24 年 試験科目 25 「飛行指示制御装置の製造及び修理の方法に関する事項」

問 7 次ののはんだ付け作業及び組立作業に関する文章のうち、正しいものには○印を、間違っているものには×印をつけなさい。

(中略)

(6) はんだ付けの接続抵抗はワイヤラッピングの接続抵抗より大きい。

正解は「×」であるが、誤って「○」となっていました。

(4) 平成 21 年 試験科目 27 「統合表示装置の材料に関する事項」

問 2 金属材料に関する下記の記述で正しいものに○を、間違っているものに×をつけなさい。

(1) ジュラルミンは Al-Zn-Mg-Cu 系のアルミニウム合金である。

正解は「×」であるが、誤って「○」となっていました。

(5) 平成 13 年 試験科目 25 「飛行指示制御装置の強度、構造、性能に関する理論」

問 2 次の (1) ~ (5) の中、正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

(4) 標準中・短距離電波航法である VOR/DME は短波帯を用い、VOR で方位を、DME で距離を求める。

正解は「×」であるが、誤って「○」となっていました。

## 過去問題検証委員会委員名簿

(検証範囲 平成20～26、28～29)

番号	国家試験種類	所属	氏名
①	法令	TMI総合法律事務所 弁護士	波田野晴朗
②	航空機	東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授	青木隆平
③	航空機用原動機	東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授	渡辺紀徳
④	航空機用プロペラ	帝京大学大学院理工学部研究科 教授	平本隆
⑤	回転翼	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 数値解析技術研究ユニット長	青山剛史
⑥	降着装置	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 次世代航空イノベーションハブ 運航安全技術研究 研究リーダー	神田淳
⑦	発電機	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 主任研究開発員	岡井敬一
⑧	空気調和装置用機器	住友精密工業株式会社 航空宇宙熱制御システム 部	富田 進
⑨	飛行指示制御装置	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 研究開発部門 研究戦略部・研究推進部 部長	張替正敏
⑩	統合表示装置	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 飛行技術セクション セクション リーダー	村岡浩治
⑪	航法用電子計算機	東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 准教授	矢入健久
⑫	レーザージャイロ装置	東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授	中須賀真一
⑬	回転翼航空機用トランスミッション	川崎重工業株式会社 ガスタービン・機械カンパニー ガスタービンビ ジネスセンター 駆動システム技術部 部長	五井龍彦
⑭	ガスタービン発電機制御装置	株式会社セルテック 取締役	黒崎正大

(敬称略)